

インターンシップ体験記



3年 栗田 高大

インターンシップ先：株式会社陽南荘宇都宮グランドホテル

インターンシップ期間：2014/8/25～8/29

私は今回、「陽南荘宇都宮グランドホテル」で5日間のインターンシップを体験させていただきました。ホテルを選ばせていただいた理由は、自分の進路を考えたときに観光業、サービス業に興味があり、その中でもホテルは「接客のプロ」というイメージがあって、気遣いや心構えなど学べることの出来る場ではないかと思ったからです。

まず、初日は宇都宮グランドホテルについて説明していただき、施設や部署などを一通り案内いただきました。初日の午後から2日目まで、実際に業務をやりながら「宴会サービス」についてご指導をいただきました。ナプキン折り、グラス磨き、宴会場のセッティングを体験しました。ナプキンにもいろいろな折り方があったり、グラスも種類によって磨き方が違ったりとそのコツなどを教えていただきました。宴会場のセッティングでは、お客様のお食事のテーブルの準備のとき、食事を配膳するところを席から少し開けておく事や、お客様から見えない裏方ではイス、机を運ぶ仕事を行う徹底ぶりにはとても驚きました。

3日目は施設管理課にお世話になりました。業務内容を教えていただいている時にも電話がかかってきたりして忙しく対応されていました。教えていただきながら庭園の手入れをしましたが枝を切り落としたり、落ち葉を掃いたり、施設管理課の仕事の範囲の広さと忙しさに驚きました。

4日目は、ベットメイキングの仕方を教えていただきました。社員の方はとても手際よく簡単そうにやっていますが、実際やってみるととても難しく、特に皺をつけないようにシーツを敷くのは大変難しくすぐには出来ませんでした。何とかコツをつかむことができましたが、それでも社員さんより2、3倍は時間がかかっていた気がします。チェックアウトからチェックインの限られた時間で完璧に清掃、部屋作りを終わらせるのはとても大変な事だと感じました。午後からは、フロントにあるカフェでの業務を行いました。ケーキ等の商品には保冷剤を包み、こんなところにも気遣いをされている事を知りました。そして、挨拶はとても難しく、部活動のような挨拶しかしたことのない私には、場に溶け込むような挨拶

は思うように出来ませんでした。接客挨拶の仕方については大変勉強になりました。

5日目は、昨日に引き続きベットメイキングの実習を行いました。昨日とは違い、連泊の方々の部屋をベットメイキングで、ここでは、たとえ床に何かが落ちていてもお客様の荷物と想定し絶対触っては行けない事を教えていただき、気を付けながらベットメイキングを行いました。午後からは、フロントの業務の実習を行いました。フロントというとチェックイン・アウトくらいしか知らなかった私はやることの多さにとても驚きました。予約の入力、当日のチェックインの入力、クローク、宴会の案内、問い合わせへの対応など休まる時間もなくずっとお客様の対応をされていました。対応されている社員の方々は、フロントに来るお客様をいつも気遣いして、必ず先に話しかけるという事を徹底的に実践していました。これにはとても驚きました。そして接客とはこういうことだと学ぶことができました。

最後になりましたが、5日間のインターンシップでは、自分の中にあったホテルの仕事のイメージとは違う面を多々拝見し、とても勉強になりました。初めは不安もありましたが冗談を交えつつ教えてくださったり、気さくに声をかけてくださったり、社員の方々の心遣いのおかげで充実したインターンシップを送ることができました。この貴重な体験を将来に生かせるよう日々努力していきたいと思えます。宇都宮グランドホテルの皆様方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



3年 小川 榛菜

インターンシップ先：株式会社足利銀行

インターンシップ期間：2014/8/28～8/29

この度の2日間のインターンシップでは、お忙しいところ時間を割いていただき誠にありがとうございました。貴行の講師の方には親切に分かりやすく、そして楽しくご講義を頂き、心より感謝申し上げます。今回のインターンシップでは就職活動に役に立つ事や、社会人として大切な事項等をたくさん学ぶことができました。

就職活動において、第一印象とコミュニケーション能力が重要である事を学びました。そして、社会人として日々目標を持って行動する事の大切さをご指導頂きました。

就職の面接や初対面の相手には、第一印象で8割から9割が決まるといいます。インターンシップでは、実際の窓口対応も第一印象が大切と教えて頂き、表情や姿勢、目線など細かいところまでご指導を頂きました。第一印象を良くする事は面接だけでなく、日常人と接する時にも役に立つ事

なので、今後の生活で意識し実践していきたいと思います。

次に、コミュニケーション能力の大切さを学びました。これは、グループディスカッションをした時に感じたことですが、同年齢であっても、周りに気配りしながら話し合いを進める事の大変さを実感しました。社会に出ると幅広い年代の人と関わりを持つようになり、そこで良い人間関係を保つためには、コミュニケーション能力が必要不可欠です。グループディスカッションや講義を通して、コミュニケーションの大切さを実感し、これからはもっと積極的に行動するようにしたいと思います。

最後に目標や目的を持って行動するだけで、日常の過ごし方が変わるということを学びました。私は、計画や目標を立てるのが苦手です。日常の生活やアルバイト、更には学生生活でも日々目標を持って行動し、まずは、その一つ一つを達成できるように心掛けたいと思います。

今後はこのインターンシップで得た体験を就職活動や社会に出てからも活かせるように頑張ろうと思います。今回は2日間という短い期間でしたが、非常に内容の濃いご講義を聴講し、有意義な体験をさせて頂く事ができました。このような研修の機会を設けて頂き、本当に感謝しております。ありがとうございました。



3年 須崎 孝介

インターンシップ先：一般社団法人 栃木県経営者協会

インターンシップ期間：2014/8/21～8/27

このたびは5日間のインターンシップを通して大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今回のインターンシップでは社会人として「仕事に向き合う姿勢」や「自分の強みや弱み」等を実習の中で考える機会になりました。また、研修では特に「第一印象の大切さ」等について学ぶことが出来ました。

インターンシップの実習は、毎日が緊張の連続でしたが、社会人としての基礎力を学ぶことができ、少しずつ自分自身に変化していくのを感じました。学生である今の自分は社会人に対する認識や考え方が、いかに甘いものであったか痛感した5日間でした。

実習では、ビジネスマナーの研修、特に挨拶の仕方を学んだことが印象に残っています。挨拶をするときは、心に気持ちを込めて挨拶をすると印象が良くなることを教えていただきました。「〇〇先輩、今日も1日よろしくお願ひ致します。」と心に言い聞かせてから挨拶をするのです。このように心を込めた挨拶で自分も気持ちよくなると同時に相手にも好印象を与えることができるのです。普段の何気ない挨拶でも少し工夫すれば良くなると思うので、これからは意識して実践していきたいと思います。

3日目・4日目は栃木県経営者協会のいくつかの加入企業に訪問させていただき、経営者様等より直接お話を伺いました。新しいマーケティングを展開している企業や様々な事業を展開している企業、従業員が一丸となって省エネ活動を行っている企業から素晴らしい経営戦略等について説明していただきました。仕事に対する姿勢は、ただ単に指示されたことを行うのではなく、自分が何をすれば会社の利益になるかを考えて行動することが大切であると教えていただきました。考える力を身に付けるには、様々な経験をして良い人間関係を作ることが必要になります。これからは視野を広げるため様々なことに挑戦をして、たくさんの人と意見交換していきたいと思います。また、社会人としての組織の中では、仲間と共に考え行動して経験を積み、多様な考え方を身に付けたいと思います。

今回のインターンシップで学んだことは、大学に戻ってから友人や後輩と共有していきたいと思います。「他人を育てて、自分も育つ」を教訓に頑張ります。この実習でお世話になった栃木県経営者協会の皆様、そしてお忙しいところお時間を割いてご指導くださいました各企業の皆様、心より感謝申し上げます。皆様から応援していただいた分、しっかり人間として成長して行きたいと思います。ありがとうございました。



3年 糸川 智美

インターンシップ先：鹿沼市役所

インターンシップ期間：2014/8/18～8/22

このたびのインターンシップでは、8月18日から22日までの5日間、企画課においてお忙しいところ貴重な実習時間を頂き、大変お世話になりました。今回のインターンシップは、マナーや言動に責任を持つことや学生と社会人との違いを発見すること、そして自分の適職を見極めて就職に対する意識を高めることを目的とし、更には、市役所にはどのような仕事があるのか、直接自分の目で見て体験したいと考えたからです。

インターンシップ初日は、朝礼から始まり、市役所内を案内していただきました。そして企画課で「鹿沼市公共施設」というデータをパソコンに入力する作業を行いました。市役所について説明していただいた際、5つの基本目標を基にたくさんの事業があることを知ることが出来、市民が快適に暮らせるよう各部署が色々な計画を立て、実施していることを改めて実感しました。市役所の職場は、私のイメージしていた通り仕事の先を見た働き方をされていて、時間に対してメリハリのある職場というのが素直な感想です。緊張していた私に企画課の皆様が家族のように笑顔で接していただいたことで、緊張がやわらぎ実習作業に集中することが出来ました。

2日目、3日目は外に出て市内の公共施設や街並みを視察しました。2日目は、公園の中などにある老朽化したテニスコートを視察しました。コート面やその周りのフェンスなど、どこが老朽化しているのかチェックして写真撮影してその実態を残すという仕事に同行させていただきました。老朽化したテニスコートを視察して、企画課の仕事の一つである公共施設を維持管理することは大変であることを実感しました。3日目は、お

洒落な喫茶店や雑貨屋さんがある「ネコヤド商店街」を見学しました。古い建物を再利用して喫茶店などの建物に使用され、色々と工夫されている商店街だと感じました。

4日目は、「鹿沼市に人口を増やすためには、どうしたらよいか」というテーマで企画書を作成しました。企画書を提案するにあたって、現状の問題から解決策や費用など考案することは大変なことであると感じました。実務では一般的な考え方として「5W1H」がありますが市役所では「6W4H」にして1つのW (whom) と3つH (how much, how many, how long) を追加することにより、さらに物事を分かりやすく筋道を立てて説明できるということを学びました。

最終日には、実施計画一次協議会に参加して企画書の発表を行いました。始まる前は厳格な会議のイメージがありましたが、自由に意見が言える雰囲気があり楽しく会議を進めていく光景には驚きました。企画書の発表では、「出会い・ふれあい計画」という企画案を発表しました。発表後、皆さんから「企画書、上手に出来ている。」と好評を頂きました。また、企画書を提案する時のアドバイスを頂いたので、今後大学の授業や卒業論文などにそのポイントを活かしたいと思います。

今回のインターンシップでは、市役所にはどのような仕事があるのか理解することが出来、自分の適職を見極めることが出来ました。今後の大学生活や就職活動において、インターンシップで学んだことを活かしていきたいと思います。緊張しながらも楽しく5日間、職場の皆様と仕事をすることができ、鹿沼市役所のインターンシップに参加して良かったと思っています。ありがとうございました。



3年 平山 知樹

インターンシップ先：大田原市役所

インターンシップ期間：2014/9/1～9/8

このたびのインターンシップでは、9月1日から9月8日までの8日間、貴重なお時間を割いていただき、産業振興部商工観光課の皆様方には大変お世話になりました。今回のインターンシップを通して様々な公務員としての心構えを学ぶことができました。

初日は市役所の仕組みを教えていただいた後、市役所内の視察を行いました。午後には「調整会議」の見学をさせていただき貴重な体験となりました。その後、「トコトコ大田原」で「与一くん」の宣伝を兼ねたエフエム栃木の収録の見学をさせていただきました。職員の方々のてきぱきとした対応や番組の盛り上げ方などに感心しました。

2日目は「子育て支援券」という政策についての説明を受けました。大田原市にはこのような素晴らしい仕組みがあり、多数の企業や店舗の協力を得て活動していることにとっても驚きました。また、「子育て支援券」

の包装作業や販売業務を行いながら、別の仕事もやらなくてはいけないという仕事の大変さを理解しました。

3日目、4日目は交通量調査の準備や「トコトコ大田原」に行き、市民交流センターや様々な施設の視察を行いました。市民交流センターも市役所の組織の一つであると伺い、市役所は市民のためにたくさんの活動をしており、その一つ一つがとても大切な業務であることを実感しました。また市内の公共施設や主要観光地等の視察をして、市内在住の私も知らない施設や観光地が多くあるので、大田原市の魅力をもっと全国に広めていきたいと思いました。

5日目、6日目は「全国ご当地キャラクタースポーツ大会 in 大田原」の会場準備を行いました。会場準備ではシート敷きや椅子、テーブルの準備、競技に使う備品の準備をしました。事前の打ち合わせにより、スムーズに行うことができ、効率よく行うことができました。一つの仕事を遂行するためには全員で意思疎通をはかり協力して行うことが大切であることを学びました。7日目はイベントの当日であり、私は会場係の一員として参加させていただきました。会場の警備や備品の準備、片付けを行いました。忙しい中、予想外の出来事にも冷静に対応する職員の方々を拝見して、私も冷静沈着で臨機応変に対応できる社会人になりたいと強く思いました。またイベント運営の裏側を見ることができて、とても貴重な体験ができたと思います。

最終日には市役所の様式で「研修受講報告書」をまとめる作業を行いました。社会人になると組織では上司に報告書を提出することになります。このような諸作業も、インターンシップで体験することができてとても感謝しています。普段の大学生活では得ることができない有意義な体験をたくさんさせていただきました。ありがとうございました。



3年 向田 菜津美

インターンシップ先：栃木県庁

インターンシップ期間：2014/8/18～8/22

このたびは、5日間にわたるインターンシップを体験させて頂き、人事課の皆様、並びに農村振興課の皆様には大変お世話になりました。普段の大学生活では得ることができない貴重な体験をさせていただきました。

実習にあたっては、共通プログラムで、先輩方との交流会が特に印象に残っています。所属先以外の各課の業務内容をお聞きすることが出来たことはもちろん、「なぜ県職員になろうと思ったのか」、「県職員になるためにどのような勉強をしたか」など、先輩方の熱い思いや実体験に基づき、様々なアドバイスをさせていただきました。将来の進路が定まらない中で参加したインターンシップでしたが、採用のパンフレットだけでは知り得ない部分まで直接お聞きすることで、具体的な目標が抱けるようになりました。また、インターンシップに参加した他大学の学生との交流も深めることができ、大変有意義な5日間を過ごすことができました。

所属実習では、農村振興課の皆様に温かく迎えていただきました。大学では、まちづくりや中心市街地の活性化に関する学びに取り組んでいるので、農村地域の活性化について考えることは新鮮であり、農村が果たす機能や、活性化のための事業を知れば知るほど興味が湧いてきました。環境対策担当では、主にスマートビレッジモデル研究事業関係の現地調査や資料作成を行いました。6次産業化で注目を浴びる農業のさらなる発展のため、小水力発電等のエネルギー政策は重要な課題であると実感するとともに、全国初の取り組みへの賛同者が増えれば良いと感じました。中山間地域担当では、鳥獣被害のデータ資料の作成や、中山間地域魅力体験ツアーの打ち合わせ等を行いました。県民の私でも知らない魅力的な場所がまだまだあることに気付くとともに、そのような地域を鳥獣から守る取り組みの必要性を理解することができました。

さらに、私が大学で学び取り組んできた「まちづくり」の経験が農村地域の活性化に生かせること、反対に、農村地域活性化の取り組みが、「まちづくり」にも応用できることを発見することができました。栃木県のさらなる発展のためには、中心市街地だけではなく、食や自然を供給してくれる農村も元気になり活気づくことが必要不可欠です。農業を行って直接的な協力をする手段もあれば、農村振興課の皆様のように農業環境を整備する取り組みを行うというアプローチも出来ます。今後、高齢化が進行しているという問題も踏まえ、私たち大学生のような若者が積極的に協力していける機会をいただきたいと思いました。

5日間のインターンシップは、私にとって非常に実りあるものとなりました。この体験を十分に生かし、今後の進路選択に役立てていきたいです。皆様にはお忙しい時間を割いて貴重な体験をさせて頂き、心から感謝しております。ありがとうございました。